

平成 17 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 8 月 10 日

上場会社名 日新商事株式会社

(コード番号：7490 東証第二部)

(URL <http://www.nissin-shoji.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長 太田 周宏

問合せ先責任者 役職名 経理部長 本間 一郎

TEL : (03) 3457 - 6253

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

不動産賃貸料の売上処理

従来、不動産賃貸料及び不動産賃貸原価は営業外収益及び営業外費用に計上しておりましたが、当連結会計年度より売上高及び売上原価として計上しております。これは、今後、不動産のより一層の有効活用を図り、事業の拡大を推進していくことから、不動産事業を重要な収益基盤として位置付けたためであります。

なお、これによる売上高への影響は軽微であります。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 6 月 30 日）

売上高

(単位未満切捨て)

	百万円	%
平成 17 年 3 月期 第 1 四半期	15,196	17.7
平成 16 年 3 月期 第 1 四半期	18,461	25.4
(参考)平成 16 年 3 月期	69,144	

(注) 1. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

2. パーセント表示は前年同四半期比増減率を示しています。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期のわが国経済は、中国や米国を中心とした輸出拡大を背景に企業部門のみならず個人消費にも景気回復の兆しが見えるものの、原油価格の高騰など一部不安材料も抱えて推移しました。

このような状況下、当社グループは原油価格高騰による仕入価格上昇分を販売価格に転嫁する営業活動を行いました。電力会社向け売上高が原子力発電所再稼動により前年同四半期に比べ 2,740 百万円減少いたしました。その結果、売上高は前年同四半期に比べ 3,265 百万円 (17.7%) の減収となりました。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

該当事項はありません。

3. 平成 17 年 3 月期の連結業績予想（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	31,000	180	90
通期	63,000	460	230

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 31 円 45 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想の修正はありません。

[業績予想に関する注意事項]

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上